

第43回釜ヶ崎夏まつりを迎えるにあたって

1972年に始まった夏まつりも今年で43回目を迎えることとなりました。夏まつりはお盆の時期を釜ヶ崎で過ごす仲間が楽しみにしている行事であると同時に、地域に定着した夏の風物詩でもあります。しかし、その一方で夏まつりは越冬闘争とともにその時々釜ヶ崎を取り巻く状況とは無縁ではありません。今年の夏まつりは、動き始めた西成特区構想、老朽化・耐震強度不足によるあいりん総合センター建て替え問題、着工の遅れが指摘されている萩ノ茶屋・新シェルター建設問題等のさ中に行われます。夏まつりではそういった問題の情報を地域の住民とともに共有できる場でもありたいと考えています。

夏まつり本部のご案内

公園北側の真ん中出入口付近に夏まつり本部があります。

◎お茶の無料配布(夕方から)

◎パンフ・ステージスケジュール・みちしるべ等の配布

◎体調不良の方、救急時の対応

◎夏まつりカンパの受付(カンパ箱)

◎忘れ物・落とし物等の対応受付

等を行っています。お気軽にお立ち寄り下さい。

◎三角公園掲示板◎

西成特区構想で大きく変わろうとしている釜ヶ崎を巡る情報を行政サイド含めて多角的に掲示します。また各団体の取り組みやアピール等も掲示していきます。